

平成 29 年度社会的養護における「育ち」「育て」を考える研究報告会

社会的養護を担う人の育成

～「育ち」「育て」そして、子どもと一緒に「育つ」～

本研究は、平成 22 年度より国立武蔵野学院（児童自立支援施設）が事務局となり、社会的養護に関する研究者・関係団体（児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、里親、里親支援機関、自立援助ホーム、ファミリーホーム、児童家庭支援センター、児童相談所、社会的養護当事者支援団体）が一堂に会し、社会的養護のもとで暮らすすべての子どもの「育ち」「育て」について、種別を超えて検討する研究会です。

なお、平成 28 年度、平成 29 年度の研究テーマは、「社会的養護を担う人の育成」～「育ち」「育て」そして、子どもと一緒に「育つ」～とし、2 年間をかけて研究しています。

今回の研究報告会は、国立障害者リハビリテーションセンターにおいて、社会的養護関係者及び児童福祉や教育等に関心のある学生などより多くの人たちに集まっていただき、「社会的養護を担う人の育成」を考えるための基調講演を行い、あわせて、このテーマについて広く考えるためのシンポジウムを行います。

【日 時】 平成 30 年 2 月 24 日（土） 13:00～17:00（受付 12:00～）

※ 12:00 より、社会的養護関連の DVD を上映しますので、興味のある方はご覧下さい。

【会 場】 国立障害者リハビリテーションセンター 学院講堂（別紙地図参照）

【内 容】 1. あいさつ及び平成 29 年度研究会テーマの趣旨説明

児童自立支援施設 国立武蔵野学院長 青木 建

2. 基調講演 「すべての子どものために」

津田塾大学客員教授

村木 厚子（むらき あつこ）氏



プロフィール

1978 年労働省（現厚生労働省）入省。女性政策、障がい者政策などに携わり、2008 年雇用均等・児童家庭局長、2012 年社会・援護局長などを歴任。2013 年 7 月から 2015 年 10 月まで厚生労働事務次官。

3. シンポジウム 司 会 鈴木 雄司 氏（東京福祉大学社会福祉学部教授）

シンポジスト 北川 聡子 氏（「麦の子会」理事・総合施設長

木本 ゆう 氏（NPO 法人「日向ぼっこ」代表

熊澤 健 氏（横浜市向陽学園寮長）

則武 直美 氏（岡山聖園子供の家施設長）

4. 研究報告（各グループ成果発表） 研究会委員

【参加者】 社会的養護関係者及び児童福祉や教育等に関心のある方 250 名（申し込み先着順）

【参加費】 無料

【申し込み】 平成 29 年 12 月 12 日（火）～

【申し込み方法】 参加ご希望の方は申し込み用紙にご記入の上、FAX またはメールでお申し込み下さい。

※ なお、申し込みについては、国立武蔵野学院ホームページをご覧ください。

申し込み用紙

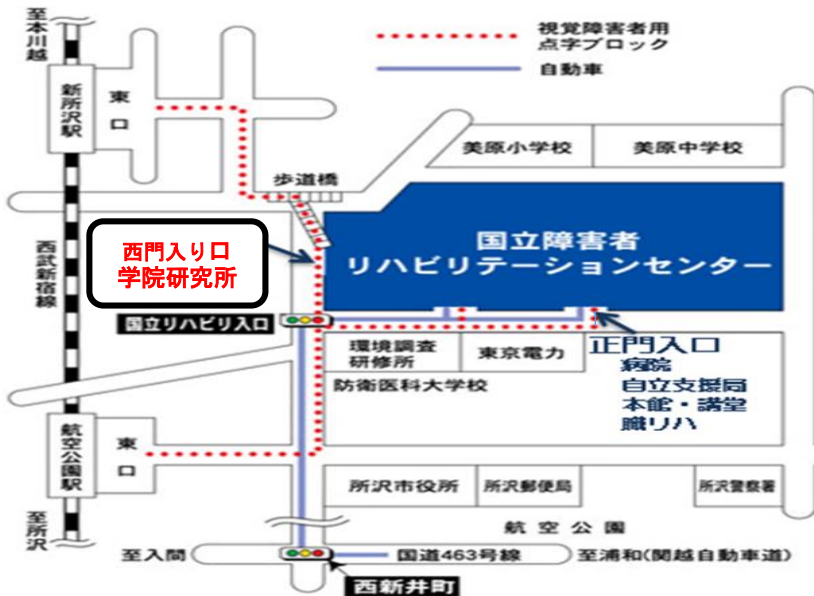
| 氏 名 | 所 属 | 連 絡 先 |
|-----|-----|-------|
| | | |
| | | |
| | | |

FAX : 048-878-1244

E-mail : sodachisodate@musashino.go.jp

連絡先：国立武蔵野学院 調査課

TEL : 048-878-1260 (音声ガイダンス1番)



会場の国立障害者リハビリテーションセンター学院は、西武新宿線「航空公園駅」又は「新所沢駅」からタクシーで約5分、徒歩15分です。西門から入ります。

〒359-8555

埼玉県 所沢市 並木4丁目1番地

☎ 04-2995-3100 (代)

■ 施設配置図



▶ 入口 Ⓞ 総合受付 📍 バス停